

学習会のお知らせ

地下水の水源地を考える

豊丘村の水道水の 96%は地下水が水源です

今も これからも ずっととよおか

と一緒に 私たちの水について考えましょう！

土木技術者で、豊丘村では
水の先生としてもお馴染みの
桂川雅信さんに地下水と地下水
の利用について、豊丘村の地形と
地質の特徴にも触れながらお話し
いただき、意見交換をします。

講師紹介 桂川雅信さん

略歴；1946 年生まれ。東京農工大学農学部卒業。
公務員として下水道の設計、計画、管理に関わり
シールドトンネルの設計にも従事。水問題の研究
活動をはじめ、北海道教育大学、三重大学にて非常
勤講師、釧路湿原自然再生協議会構成員、滋賀県立
水環境科学館館長など歴任。全国の川や湖沼を巡
り水環境改善と環境教育に関わる。技術士、環境カ
ウンセラー、2012 年より中川村在住、日本科学者
会議長野県支部幹事

10 月 25 日（土） 13:30～ 講演開始

会場 豊丘村交流学習センター ゆめあるて 第1・2 研修室

開場 受付開始 13:00 （参加は無料 カンパ大歓迎🍵）

質疑応答後閉会予定 16:00

主催 豊丘村の水を守る会 後援 風土でフード

お問い合わせ ☎ 090-8328-5334 壬生まで





水源地にリニアの有害残土を持ち込まないで！

JR 東海 「虻川上流の本山発生土置き場にヒ素を含む残土を処分したい」

トンネル工事で基準値以上のヒ素を含む残土＝有害残土が坂島に仮置きされています。当初「有害残土は入れない」としていましたが、今になって有害残土も含めて本山発生土置き場に処分したいとしています。

本山発生土置き場は水源地の谷間

豊丘村の水道水の96%は山の方から流れる地下水です。JR 東海はおよそ1年間の試験を行い、ヒ素を適切に処理できるとしています。地下水の流れは非常に遅く、その影響は数十年後かもしれません。1年間の試験で得られた技術とため池などに使用する被覆シートで、**数十年後の豊丘の地下水の安全が守られる保証はありません！**

村は水の安全を守る水道事業者

無機ヒ素には慢性毒による発がん性があります。ヒ素は自然界に存在するのでゼロにはできませんが、水道事業者は国民の健康を守るため、規制基準値0.01mg/Lを遵守しなければなりません。規制基準値は「安全値」ではなく、**飲料水中のヒ素は可能な限り低い濃度に維持することが必要なのです。**

50年後100年後の村民の水

豊丘村では将来に備え、水道管の更新工事や配水池の耐震化などが進められています。現在の水源を利用し、将来も村民が安心して飲める水を供給するため、**水源地への有害残土の処分は認められません！**

豊丘村へ 山間地を有害残土の処分地にしないように求めましょう！

JR 東海へ「本山発生土置き場へ有害残土処分」の撤回を求めましょう！

